

呑吐ダム探険隊
～ ダムをもっと知ろう！～

11月10日（土）、兵庫県三木市志染町三津田にある呑吐ダムにおいて、楽しみながらダムについて学んでもらおうと東播用水「水と緑の交流」実行委員会が毎年実施しているイベント「呑吐ダム探険隊」が開催され、親子連れらが多く参加しました。

呑吐ダムは、神戸市、明石市、加古川市、三木市、稲美町などに農業用水や上水道を供給することを目的として1987年につくはら湖を貯水池として作られた、高さ71.5メートルの重力式コンクリートダムです。

かつてこの土地にあった大小の滝が川の流れを呑み込んで吐くように見え「呑吐の滝」と呼ばれていたことから名付けられたそうです。

当日は、137名もの多くの方が、ヘルメットをかぶりながら普段入ることのできないダム内部の監査廊、操作室、小水力発電所及び揚水機場などを見学しました。

今回、近畿農政局東播用水二期農業水利事業所の職員が、東播用水「水と緑の交流」実行委員会の一員として、小水力発電施設及び揚水機場の説明、また、見学者のダム堤体内への案内をサポートさせていただきましたのでご紹介させていただきます！



賑わう受付



ダム堤体内



小水力発電施設



揚水機場